

株式会社マトリクソーム

<https://matrixome.co.jp/>

多能性幹細胞及び組織幹細胞の培養・増殖、
分化誘導、機能維持に有効な培養基材の
研究開発及び販売



会社の特徴、事業概要

大阪大学蛋白質研究所が蓄積してきた細胞外マトリックス分子の組換え蛋白質発現・精製技術と解析技術を基盤として、多能性幹細胞および組織幹細胞の培養・増幅、分化誘導、機能維持に有効な培養基材の応用開発研究を行い、実用化。株式会社ニッピが製品としての開発および実製造を行い、完成した商品を株式会社マトリクソームに販売委託。主力商品は、幹細胞培養基質として精製したラミニン511E8断片の高純度精製品「iMatrix-511」。今後は、細胞加工・分析技術・ノウハウを活用した創薬・医療支援および細胞培養加工事業等サービス提供への事業展開も目指している。

大阪大学との関係

2014年に採択された、大阪大学蛋白質研究所(関口清俊教授)と株式会社ニッピとの「事業化推進型共同研究」の成果を活用。科学技術振興機構(JST)および日本医療研究開発機構(NEDO)の再生医療実現拠点ネットワークプログラム「幹細胞培養基材の開発」にも採択されている。

OUVCは、大阪大学とニッピと共同で事業化促進に向け、ビジネスモデルの構築、事業計画および資本政策の策定、チームアップ等の支援を実施。

iMatrix-511

細胞培養基質
「CHO-S細胞」で生産した
ラミニン511E8断片の
高純度精製品



iMatrix-511 silk

細胞培養基質
「カイコの繭」から抽出・精製した
ラミニン511E8断片の
高純度精製品



iMatrix-411

ES/iPS細胞から血管内皮細胞へ
の分化誘導用基質



iMatrix-221

心筋細胞・骨格細胞の純化/維持
培養用基質



- 3** 大阪大学に
特許を譲渡
- 4** 国の重点研究を
めぐるに
- 8** 株式会社ニッピ
と共同開発
- 9** 創業から10年未満の
企業をつつとつ
- 12** つくしを担
つくり責任

本社所在地	大阪府吹田市山田丘3番2号 大阪大学蛋白質研究所共同研究拠点棟
代表取締役	山本 卓司
設立	2015年12月